

## 【 日々是好日 】

中国の唐の時代の僧、雲門文偃（ぶんえん）が弟子達に向かって言いました。「これまでの15日間の修行のことはさておき、これから15日の修行の中で、お前達が一番大切だと思うことを一言で言ってみよ」雲門禅師はこの問題を出すや、すかさず自分から「日々是好日」と言いました。

では何故、雲門禅師は問題を出すや、すかさず自分で答えたのでしょうか。ここがポイントになります。

「ひび」と言わずに「にちにち」と独立させると明確になります。私とあなたを比較できないように、昨日と今日を比べようがないのです。雨でも、嵐でも、今日こそ、かけがえのない一日です。昨日も今日も前後際断することです。これから修行の15日間で答えればよいとする考えは甘えです。まだ時間があると、時に甘えることは許されません。時は刻々と流れていますが、時が生きているのではなく、人が生きているのです。「人、時を待つ、時、人を待たず」です。

### 【 今の時間と命を大切にする 】

- 日日（にちにち）是好日（碧巖録第6則）は、一般には「毎日毎日が良い日でありたい」と解釈されますが、禅的にはもっと深い意味があります。
- 日々是好日とは、良い日とか悪い日とか言う問題ではありません。
- 人が生きているから時間が有るのです。我々は、「いま・ここ」にしか生きられません。
- 人と時が、「いま・ここ」に存在しているのです。
- いま、ここで自分の思っている事を現さず、何時、現すのですか。
- 生も一時のくらいなり、死も一時のくらいなり、たとえば、冬と春とのごとし、冬の春になるとおもわず、春の夏となるといわぬなり。（現成公案）
- 仕事の時は家庭のことを放下し、家庭の時は仕事を放下する。

### 【 禅と経営 】

- 毎日、本日開店の気持ちで仕事をする。
- 過去と他人は変えられない、変えられるのは今と自分です。
- いまある経営資源を最大に生かすことです。
- 即断、即行が大切です。今日の仕事をやりじまいする。
- クレーム＝ニーズです。いまのお客様を大切にする。
- 社内で起きる問題総てを肯定し、一つずつ解決していく（得一法・通一法）。
- 仕事は忙しい人に頼めと言います。仕事ができる人は、いま・ここを大切にしている人です。